

# 所沢市学校施設耐震化推進施策の概要

## ● 対象となる学校施設

昭和56年6月に施行された新耐震設計基準適用以前に建設された市立学校施設(校舎・体育館)を対象とします。

市内の学校数 小学校 32校 中学校 15校	昭和56年6月以前に建設された校舎をもつ学校 (36校)	平成20年度までに耐震化を完了した学校(10校) ⇒ 耐震化率※ 44.7%
	上記以外の学校 (11校) ……耐震化は不要	平成21~25年度に耐震化を完了する学校(26校) ⇒ 耐震化率※ 100%
		【耐震化の対象校】小学校 18校 + 中学校 8校

※耐震化率は校舎のみが対象です

## ● 計画の期間

平成19年7月策定時の「所沢市学校施設耐震化推進計画」では、耐震化の完了年度を、従来想定されていた平成39年度から平成27年度に短縮したものでしたが、このたびの改訂ではこれをさらに2年短縮し、完了年度を平成25年度としました。

## ● 計画の進め方

学校施設の耐震化には「耐震診断」「耐震補強設計」「耐震補強工事」の3つの工程があり、それぞれに1年度を要するため、計画の推進にあたっては、これらの工程を年度ごとに適正に配分し、実現可能なスケジュールを組む必要があります。

Is値0.3未満の施設の耐震化を平成23年度までに完了し、なおかつ平成25年度に耐震化100%を達成するために、次の方針によって計画を進めていきます。

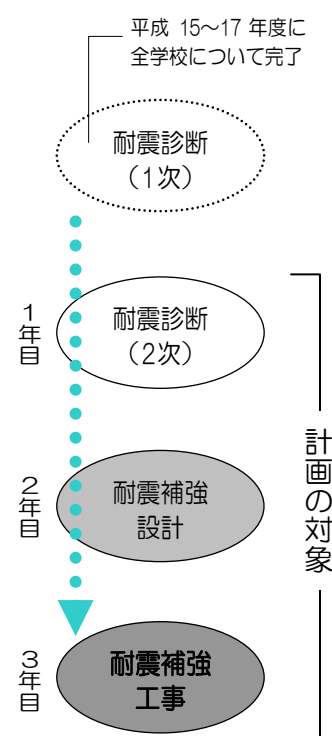
- 平成21年度に耐震診断をする20校と、平成20年度に診断した4校(明峰小・安松小・泉小・富岡中)のIs値を踏まえて《22年度耐震設計⇒23年度耐震工事》の学校を決める。
- 1次診断でIs値0.3以上の施設は2次診断を平成22年度に実施する。(診断は平成22年度で終了)
- 診断の結果、国・県の動向、財政状況等に応じて迅速かつ柔軟に耐震化を進めていく。

### Is値とは…

Is(構造耐震指数)は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。

#### 目安

- 0.3未満 …… 震度6以上の地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
- 0.3以上0.6未満 …… 倒壊または崩壊する危険性がある
- 0.6以上 …… 倒壊または崩壊する危険性が低い



## ● 耐震化のスケジュール (平成21年4月現在)

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
<b>20年度 設計3校</b> 西富小(校・体) 三ヶ島中(校) 小手指中(校)	<b>21年度 工事3校</b> 西富小(校・体) 三ヶ島中(校) 小手指中(校)				
<b>20年度 診断11校</b> 清進小(校・体) 三ヶ島小(校・体) 小手指小(校・体) 山口中(校) 美原小(校・体) 山口小(校・体) 若狭小(校・体) 明峰小(校) 安松小(校・体) 泉小(校・体) 富岡中(校)	<b>21年度 設計7校</b> 清進小(校・体) 三ヶ島小(校・体) 小手指小(校・体) 山口中(校) 美原小(校・体) 山口小(校・体) 若狭小(校・体)	<b>22年度 工事7校</b> 清進小(校・体) 三ヶ島小(校・体) 小手指小(校・体) 山口中(校) 美原小(校・体) 山口小(校・体) 若狭小(校・体)			
	<b>21年度 診断20校</b> 牛沼小(校・体) 上新井小(校・体) 林小(校・体) 南陵中(校) 狭山ヶ丘中(校・体) 北秋津小(体) 北野小(体) 宮前小(体) 中央小(体) 並木小(体) 美原中(体) 北小(体) 伸栄小(体) 若松小(体) 富岡小(体) 中富小(体) 所沢中(体) 向陽中(体) 東中(体) 柳瀬中(体)	<b>22年度 設計__校</b> 明峰小(校) 安松小(校・体) 泉小(校・体) 富岡中(校) + 左記20校 上記24校の中からIs値の低い順に選定	<b>23年度 工事__校</b> 22年度に設計した学校が対象		
		<b>22年度 診断8校</b> 北秋津小(校) 北野小(校) 宮前小(校) 中央中(校) 中央小(校) 並木小(校) 美原中(校) 所沢小(体)	<b>23年度 設計__校</b> [前年度からの繰越し+左記8校]の中からIs値の低い順に選定	<b>24年度 工事__校</b> 23年度に設計した学校が対象	
				<b>24年度 設計__校</b> 残りの学校	<b>25年度 工事__校</b> 残りの学校

表の見方  
 (校・体) …… 校舎+体育館  
 (校) …… 校舎のみ  
 (体) …… 体育館のみ

Is値0.3未満の学校の耐震化を完了

耐震診断は22年度で完了

## 計画の完了年度を早めた経緯

学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす活動の場であり、地域の防災拠点としての役割も担うため、その安全性の確保は市として最優先で取り組むべき課題の一つといえます。

平成 19 年 7 月に策定された「所沢市学校施設耐震化推進計画」は、市立学校施設の耐震化を平成 27 年度までに達成することを目指したものでした。

しかし昨年 5 月に中国四川省で大地震が発生し、現地の甚大な被災状況が伝えられると、国内でも、学校施設の耐震化を一層早く進めるための措置が講じられました。

このような状況のなか、所沢市では平成 20 年 7 月、「所沢市学校施設耐震化推進計画」の計画期間を 2 年間短縮して完了年度を平成 25 年度に改め、さらに 11 月には、倒壊等の危険性の高い学校施設 (Is 値 0.3 未満) については平成 23 年度までに耐震化できるよう実施年度を一部組み替えることにしました。

### ●●● 学校耐震化をめぐる最近の動向 ●●●

(平成 20 年 6 月) 地震防災対策特別措置法が改正され、Is 値 0.3 未満の施設を平成 22 年度までに耐震化した場合 (他の条件もあり)、国庫補助の特例 (補助率 1/2→2/3) が適用されることになる。

(平成 20 年 6 月) 文部科学大臣が「学校耐震化加速に関するお願い」のなかで、平成 24 年度を目途に Is 値 0.3 未満の学校施設の耐震化を図る政府方針を、さらに加速することを提唱する。

(平成 20 年 10 月) 文部科学大臣が「緊急総合対策を踏まえた学校耐震化加速に関するお願い」のなかで、Is 値 0.3 未満の学校施設の耐震化達成年度を 1 年前倒しし、平成 23 年度までとする政府方針を伝える。

(平成 20 年 11 月) 文部科学省が所沢市に「耐震化年次計画の再考について (依頼)」のなかで、計画の前倒し等を要請する。

#### 所沢市学校施設耐震化推進計画 (ダイジェスト版)

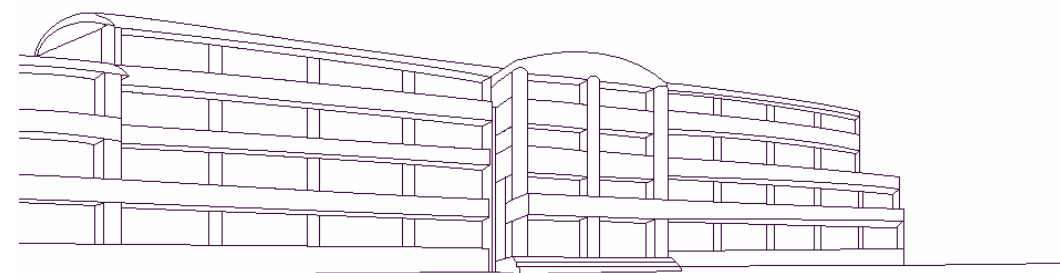
平成 21 年 4 月

発行 所沢市教育委員会  
教育総務部教育総務課 (教育企画室)

〒359-8501 所沢市並木一丁目 1 番地の 1  
TEL 04-2998-9232  
FAX 04-2998-9128  
E-mail a9232@city.tokorozawa.saitama.jp

ダイジェスト版  
(内容更新しました)

# 所沢市学校施設耐震化推進計画



平成 19 年 7 月に策定した「所沢市学校施設耐震化推進計画」の計画期間を 2 年短縮し、平成 25 年度に市立学校施設の耐震化 100% を達成します。

平成 21 年 4 月

所 沢 市